

徳島を地盤に福祉施設などを展開する社会福祉法人健祥会(徳島市)は、力仕事を支援する介護スーツの利用を始めた。介護スタッフの体の負担を軽減しようと、介護老人保健施設の健

# 医療・介護 最前線 レポート

## 健祥会ヘルス(徳島県)

祥会ヘルス(徳島県美馬市)に今年1月から2台導入した。同会は介護スーツの本格普及は近いとみており、運用を通じて効果的な使い方を検証する。

ベッドから入所者を車いすに乗せる女性職員が、手

際よく青いスーツを身につけていく。リュックサックのように背負ってベルトで体に密着させ、小型の手押しポンプで空気を入れる。ものの1分程度で作業ができる状態になった。

同施設が導入したのは、東京理科大学ベンチャーのイノフィス(東京・新宿)が開発した筋力補助装置「マッスルスーツ」。人工筋肉によってモノや人を持ち上げる力を25%ほど引き上げ、腰にかかる負担を軽くする。モーターやコンプレッサなどの動力を必要としないモデルを選んだため、充電やメンテナンスの手間がいらぬ。慣れた人でなく、安全性の確認や、スーツでも比較的手軽に使えるのが特徴だ。「現場でしっかりと活用できるように配慮している」と管理者の榎納孝

### 介護スーツで楽に力仕事

が開設した筋力補助装置「マッスルスーツ」。人工筋肉によってモノや人を持ち上げる力を25%ほど引き上げ、腰にかかる負担を



榎納孝司  
管理者

#### 〈施設概要〉

- ▽所在地 徳島県美馬市穴吹町三島舞中島2021
- ▽電話番号 0883・53・1111
- ▽職員数 83人
- ▽事業概要 介護老人保健施設。通所リハビリテーションや居宅介護支援など

せたり、床に落としたモノを拾ったりできなくなるこどがわかった。このため、利用時は必ず2人1組で作業をするよう徹底しているという。



体を持ち上げる時などの腰の負担を軽減する

「宝の持ち腐れ」になっては意味が無い。使う可能性はある職員約30人に、正しい装着法や運用法などの研修を丁寧実施。利用のハードルを下げたことで、幅広い職員が使うようになったという。

同施設で働く社会福祉士の平田裕樹氏は「着けると腰への負担が全く違つと評判が高まることも期待でき判がいい。利用が多くて数分が足りないほど」と話す。ただ、直接的に作業効率が高まるわけではなく、目の先の人件費の削減などにはつながらぬ。そこで問題となるのが導入コストだ。今回購入したスーツは1着約50万円。簡単に買い増しできるわけではない。一方で価格は下落傾向にあるといい「普及に向かう変わり目は近いと考えている。競業を築にして競争力を保つためにも積極的ストレスを導入していきたい」(榎納孝司)という。

約半年が過ぎたの補助スーツの試験導入もが、離職は1件を検討している。様々な方式を比較しながら、最適な導入のあり方をこれからも模索していく。(徳島支局長 畠山周平)